

令和3年度地震・津波防災訓練 (内閣府・福島県いわき市)

実施報告書 (概要版)

福島県いわき市について

いわき市は、福島県の南東部に位置する中核市である。東北地方で2番目に人口の多い都市であり、福島県では最大の人口および面積を持つ。15の工業団地を有し、製造業を基幹的産業として、水産業や農林業、そして日本三古泉の一つに数えられる「いわき湯本温泉郷」がある小名浜地区を中心とした観光サービス業など、多様な産業が活発に展開されている。

平成23年の東日本大震災では震度6弱を観測し、津波や土砂崩れによる死者は400名以上に及んだ。

この教訓を踏まえ、国・県・市及び防災関係機関による「いわき市防災会議」を開催し、震災における課題を整理するとともに、毎年の防災訓練期間の取り組みとして「いわき市総合防災訓練」を開催するなど、市民の防災意識の向上と市職員の災害対応能力の向上に取り組んでいる。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和3年11月13日午前8時30分に福島県沖で地震が発生し、いわき市において最大震度5弱を観測、30分後の午前9時には津波が到達するとの想定で、いわき市は市内全域に対し、避難を呼び掛けた。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和3年10月23日（土）13:00～15:00
【訓練】令和3年11月13日（土）8:30～10:00
【訓練実施後WS】令和3年12月4日（土）13:00～15:00
- 主催：いわき市、内閣府
- 参加者数：約250名
- 参加機関：自治会自主防災会、いわき市消防団、いわき市消防本部

訓練の評価

■ワークショップ

防災専門家（アドバイザー）として岩手県立大学総合政策学部の杉安和也講師を招き、市内各地域の自主防災会・連合防災会の役員に参加いただいた。東日本大震災をはじめとする近年の災害から見た避難における課題を杉安講師に紹介いただいた後、グループワークで地区に存在する災害時の危険箇所の洗い出しを実施し、地区防災計画の重要性について認識を深めた。訓練実施後ワークショップでは、各地域における地域の課題を時間軸で整理し、解決方法を検討した。「地区防災計画」「地区防災マップ」の重要性に対する気付きと、策定に向けた機運を醸成することができた。

■防災避難訓練（実動）

東日本大震災において、いわき市内で津波の被害が最も大きかった平薄磯地区で実施された避難訓練では、住民の避難訓練参加者も非常に多く、避難所での検温に時間を要する等の課題もあったものの、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の開設・運営について知見を得ることができた。避難経路歩きでは避難経路上の危険箇所の確認を実施したほか、ドローンを活用した要救助者探索などの訓練も実施するなど、地震被害の減災に向けて有意義な訓練となった。

（津波避難訓練に関する自由意見）

○思ったより多くの人が集まっていた。

○検温箇所で人が集まりすぎていたので、体温計は数を多くし、市民の方々にも協力していただければスムーズに進められたのではないかと思います。集会所等に入れる人数も限られるので考慮することが大事だと感じた。

10月23日（土）13:00～15:00 訓練実施前ワークショップ

訓練実施前ワークショップを実施し、近年の災害から見た避難における課題や、地区防災計画の必要性について理解を深めたのち、災害時の地域の危険箇所について検討した。

▼内閣府挨拶



▼アドバイザー講演
（岩手県立大学
杉安和也講師）



▼ワークショップに
おける地域の危険箇
所の検討



11月13日（土）8:30～10:00 実働訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練等）

いわき市全域を対象に、地域住民が各々の場所で一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を実施した。

その後、防災行政無線等による津波避難の呼びかけに応じ、薄磯地区集会所を津波避難場所とする地区住民による津波避難訓練等を実施した。

会場では、ドローンを使用した海岸の要救助者探索も実施された。

その後、薄磯区の鈴木区長らによる災害時の避難経路歩きが実施され、地区内の避難時危険箇所の確認や検証をした。

▼屋外での
シェイクアウト訓練



▼避難所開設訓練



▼地区住民による
高台への避難



▼ドローンを使用した
要救助者探索訓練



▼避難経路歩きにおける
避難時危険箇所の確認



▼いわき市長による
訓練の振り返り



12月4日（土）13:00～15:00 訓練実施後ワークショップ

訓練実施後ワークショップでは、事前ワークショップの内容を踏まえ、地域の課題と解決方法を検討し、地区防災計画の策定に向けて理解を深めた。

▼主催者挨拶



▼アドバイザー講演
（岩手県立大学
杉安和也講師）



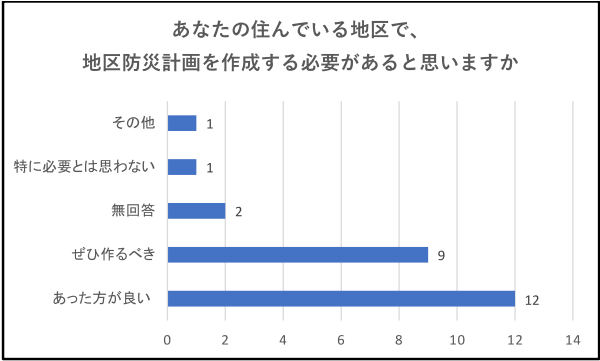
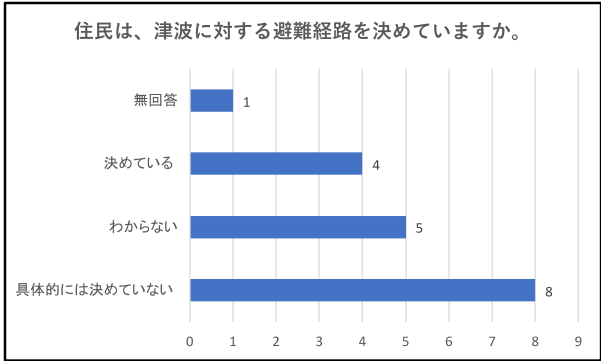
▼ワークショップに
おける地域の課題と
解決方法の検討



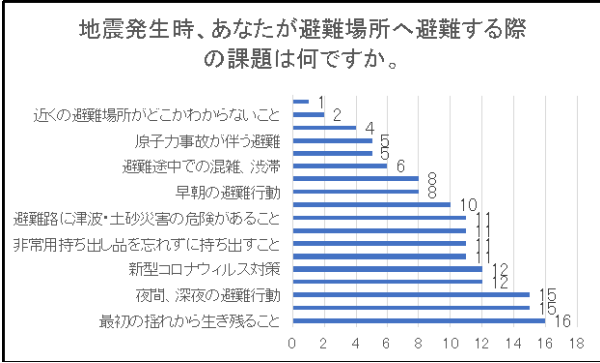
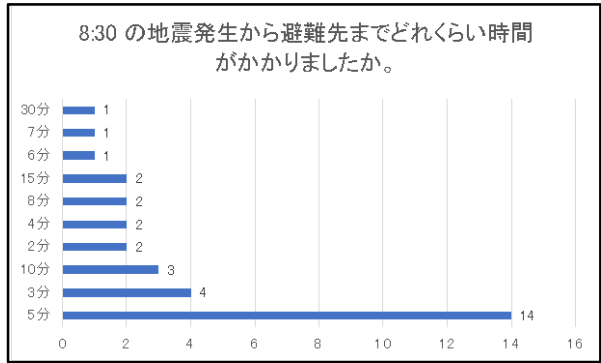
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

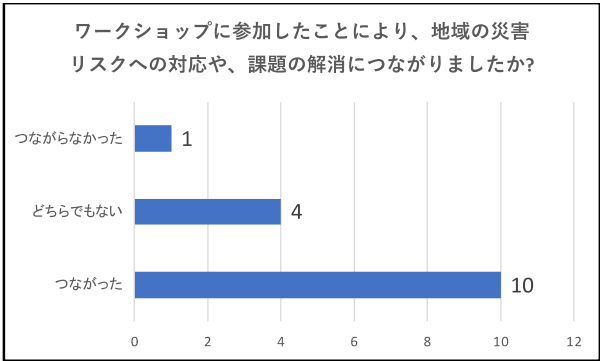
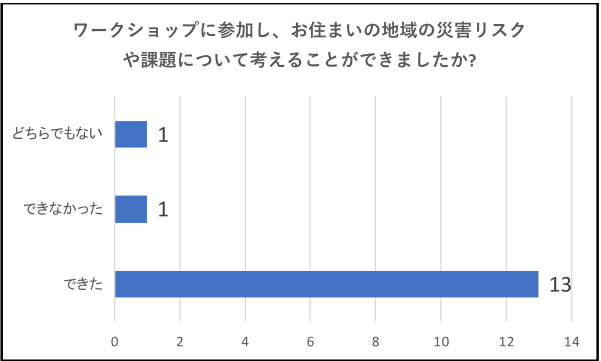
○訓練実施前ワークショップ実施後



○地震津波避難訓練実施後



○訓練実施後ワークショップ実施後



【自由意見】

（防災全般に関する事項）

○豊間在住の震災語り部として避難訓練に参加した。いかにいち早く『にげる』行動にうつせる(うつれる)か自身の経験を重ねて語り継ぎ、自分事にとらえられるよう貢献していきたい。

（事後ワークショップに関する意見）

○福祉マップを発展させ防災マップに進化させたい。

○今後自主防災組織に対して講評等をお願いしたい。